

平成30年4月8日
今週のベストショット



青松園B ソルトベイスターズ 対 三苦フレンズ戦

三苦フレンズ山口投手が七回を被安打1、13奪三振の好投で今季初勝利。

写真：塩浜ジャガーズ 石内 諒、橋村 明浩

青松園A ピンチでも慌てず、フェニックスの追撃を抑えたホーネッツが勝利！

奈多フェニックス（1敗）0000010 1 太田●-実延（新）

三苦ホーネッツ（1勝）201000X 3 川原○-松尾

HR：能丸（奈多フ）2BH：川原（三苦ホ）高原（奈多フ）盗塁：稲葉（三苦ホ）

先週とは違って肌寒い中、フェニックス太田投手、ホーネッツ川原投手で試合が始まった。一回表ホーネッツ川原投手は、フェニックスから三連続三振を奪い順調な滑り出しを見せる。その裏ホーネッツは、一番矢野選手が相手エラーで出塁すると稲葉選手の内野安打で二死二三塁とする。ここで五番隈崎選手が放った打球は二塁手のエラーを誘い2点を先制！二回表フェニックスは、四番安藤選手、五番高原選手がヒットで出塁するがあとが続かず得点できない。三回裏ホーネッツは五番隈崎選手がレフト前ヒットで出塁、六番川原選手が太田投手の投球をファールで粘り、綺麗な右中間へ二塁打を放ち1点追加。その後両投手が踏ん張り追加点を許さなかったが、六回表フェニックスが反撃を見せる。好投川原投手からフェニックス先頭の能丸選手がライトオーバーのHRで徳望の1点を返す。続く四番安藤選手が内野安打を放つと、五番高原選手が放った打球は右中間へあわや同点HRか思わせる二塁打を放ち無死二三塁とする。川原投手は続く打者に四球を出し、無死満塁とフェニックスは最大のチャンスとなる。一死後、八番香山選手が痛烈な打球を放つが、6→2のフォースアウトで二死満塁となるが後続は内野フライで得点することが出来なかった。そして七回表もフェニックスは得点できず、ゲームセット！ホーネッツが勝利した。大事なところで得点を上げ、ピンチでも動じず、周りが投手に声掛けし守り切ったホーネッツは素晴らしかった。（記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則）



ホーネッツ先発の川原投手。



フェニックス先発の太田投手。



一回表、先頭打者で塁に出るホーネッツ矢野選手。



一回表、内野安打を放つホーネッツ稲葉選手。



二回表、内野安打を放つフェニックス安藤選手。



二回裏、中ライナーを好捕したフェニックス高原選手。



三回裏、レフト前ヒットを放ったホーネッツ隈崎選手。



三回表、笑顔で守備につくフェニックス西藤選手。



四回表、ギリギリで好捕し、笑いを誘ったホーネットs塚選手。



四回表、チャンス到来！フェニックス実延(新)選手。



四回裏、ライト前ヒットを放つホーネットs松尾選手。



六回表、反撃開始のHR！フェニックス能丸選手。

雁レクD 寒の戻りで体が暖まらないなか、初回到動きが!?

ブルーマーリンズ (1敗) 001001 2 横山(祥) ●—横山(健)

新町ウインズ (1勝) 60000X 6 早田、藤田○—今林

2BH: 桐島(新町ウ) 盗塁: 泉、安藤(一)、永淵、桐島(新町ウ)

寒の戻りで、寒い朝となったこの試合は初回から動いた。一回裏新町ウインズは、連続四球で無死二三塁の場面、三番今林選手がレフト前で先制すると、続く四番桐島選手もレフト線二塁打で追加点。更に五番藤田選手のライト前で2点追加。その後も四球やワイルドピッチにより、この一回一挙6得点。ウインズ先発の早田投手は二回を無安打に抑えるナイスピッチング。ブルーマーリンズはウインズ二番手藤田投手を攻めて三回表に1点を返す。その後お互い得点ないまま迎えた六回表、意地を見せたいブルーマーリンズは二死一二塁の場面で、五番井上選手がセンター前を放ち二塁ランナーが返り1点を返すも、一塁ランナーがサードでアウトとなりゲームセット。初回到6点を取った新町ウインズが勝利した。(記事: レッドサンデーズ 前田 篤史、写真: 古賀 開)



ブルーマーリンズナイン。



新町ウインズナイン。



ウインズ先発の早田投手。



ブルーマリーンス先発の横山投手。



一回裏、レフトへ適時打を放つウインズ今林選手。



続いてレフトへ適時二塁打を放つウインズ桐島選手。



続いてライトへ2点適時打を放つウインズ藤田選手。



三回表、交代でマウンドに上がるウインズ藤田投手。



三回表、初安打を放つブルーマリーンス児玉選手。



三回裏、守備で盛り上げるブルーマリーンス糸井選手。



三回裏、三盗を試みたウインズ野中選手。



六回表、意地の適時打を放つブルーマリーンズ井上（広）選手。

青松園B もう少しで大記録！

ソルトベスターズ（1敗）	0 0 0 0 0 0 0	鶴野●、小山一酒井
三苦フレンズ（1勝）	3 0 1 0 2 0 X 6	山口一佐藤（由）

2BH：生野（拓）

平成30年開幕第二戦、既に桜が散ったにも係わらず、震えあがる寒さの中で青松園Bの試合は始まった。先攻のソルトイスターズに対し、三苦フレンズ先発の山口投手は球威十分、まったく付け入る隙を与えない。バットに当てさせることすらなく三者三振の立ち上がりを見せる。一方のフレンズは先頭の吉村雄成選手が遊撃内野安打で出塁すると、続く松尾選手は手堅く送りバント。これが失策を誘い、無死二三塁の絶好の先制機を迎えると、三番生野拓磨選手がしぶとくセンター前に運び先制する。フレンズは更に失策を絡めて初回3点を挙げた。ソルトベスターズも反撃を試みるが、剛腕山口投手が立ちはだかる。三回表にソルトベスターズ田中選手がセンター前に運び、鶴野選手が四球で続き無死一二塁とするものの、二塁走者が佐藤（由）捕手からの見事な牽制でアウトになると、続く二人も三振となりチェンジ。四回表も失策で走者を出すものの、三振後にダブルプレーを喫し走者を溜めることができない。逆に三回、五回に加点をしたフレンズは、終始ゆとりを持った試合運びで勝利を掴んだ。終わってみると1時間6分で七回終了、山口投手の1安打13奪三振の好投が際立つ試合となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：石内 諒、橋村 明浩）



フレンズ先発、剛腕 山口投手。



ソルトベスターズ先発、左腕の鶴野投手



フレンズの俊足一番打者、吉村雄成選手。



ソルト五番酒井選手のフルスイング。



救援のソルト小山投手。



ソルト唯一のヒットを放った田中選手。

奈多グラウンド 三球会 大津選手3打数3安打2打点の大活躍で開幕戦勝利！！

新町パイレーツ（1敗）00100 1 吉田●—大濱

三苦三球会 （1勝）21009× 12 鮎川—藤澤

3BH：大津（三球会） **2BH**：大津（三球会） **盗塁**：小林（新町パ）大津、松尾、上村（三球会）

肌寒い中行われた初回パイレーツは、ヒットやエラーで早速先制のチャンスも作るも三球会鮎川投手の巧みな投球の前に無得点に終わる。一方三球会は、一番藤澤選手がエラーで出塁し、三番大津選手のタイムリーでいきなり先制。続く五番鮎川選手にもタイムリーが飛び出しこの回2点。追いつきたいパイレーツは三回、二番小林選手が四球、続く三番白岩選手が執念のヒットを放ち、HR出れば同点の場面で四番沖田選手の平凡なライトフライをまさかの落球。しかしラッキーなことに一塁ランナーはスタート切れず二塁アウト。その後すぐに大濱選手の犠飛で1点を取る。パイレーツに傾きかけた流れであったが、五回裏三球会が再び猛攻を仕掛ける。相手のエラーや四球でチャンスを作ると、二番上村選手のこの回2本目のヒットとなるタイムリー、最後は三番大津選手の3安打目のタイムリーでサヨナラコールドゲームとなった。（記事・写真：奈多サンデーズ 野々下 利生久）



両チーム今年の初戦。



三球会先発の鮎川投手。



パイレーツ先発の吉田投手。



一回表、先制のチャンスを作るパイレーツ岡山選手。



三回表、執念のヒットを放つパイレーツ白岩選手。



三回表、1点をもぎ取るパイレーツ小林選手。



五回裏、この回2本目のヒットを放つ三球会上村選手。



五回裏、この日大活躍の三球会大津選手。

第2週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第2週、4月8日はかなり冷え込む中、4試合が行われました。

青松園Aの奈多フェニックス対三苦ホーネッツ戦は、フェニックス打線に対してホーネッツ川原投手が三者連続三振でスタートすると、フェニックス能丸選手のHRのあと無死満塁のピンチも後続を断つ。川原投手は打っても2安打で1-3でホーネッツの勝利。

雁レクDのブルーマーリンズ対新町ウインズ戦は、初回ブルーマーリンズ横山（祥）投手の不安定な立ち上がりを攻め、三～六番の連続タイムリーを含め6点を奪う。対するブルーマーリンズはその後のウインズ打線の攻撃を凌ぎ何とか2点を返すが初回の失点が大きすぎた。ただ、二回以降は見応えのある試合展開だったため今シーズンのブルーマーリンズには期待が持てそうだ。

青松園Bのソルトベスターズ対三苦フレンズ戦は、フレンズ山口投手が被安打1、13奪三振の圧巻の投球を見せると、三番生野拓磨選手の3安打等で効率よく6点を奪い快勝。今年も山口投手を打ち崩すのは難しく、塁に出ても佐藤捕手の強肩から塁を奪うのはそれ以上に難しい。

奈多グラウンドの和白新町パイレーツ対三苦三球会戦は、3点を追う三回表大濱選手のタイムリーで1点を取るも、五回裏に大量9失点。三球会の鮎川投手はパイレーツ打線を1失点に抑え、1-12で快勝。

寒の戻りで肌寒い一日だったが、まだまだバットが振れていないチームもあるようだ。

これから暖かくなっていくと、打力も上がってくることが期待できるが、失点を抑える工夫も必要になる。

また各チーム新人選手も早くなじんで活躍してほしい。